

京田辺市立図書館サービスアクションプランの策定に係る パブリックコメント結果（案）

- （１） 案件名 京田辺市立図書館サービスアクションプラン（案）
- （２） 募集期間 令和８年１月１６日（金）から令和８年２月１５日（日）まで
- （３） 意見提出者 ９名
- （４） 意見の数 ３２件
- （５） 意見への対応内訳

対応区分	件数
計画に追加又は修正するもの（追加・修正）	件
計画に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	件
計画の実施段階で参考とするもの（参考）	件
その他	件
合計	件

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
1	共働き家庭が増加する中、平日に図書館を利用することが難しい世帯も多く、図書館は主に土日のお休みに利用する公共施設となっています。そのため、休日に「行ってみたい」「家族で過ごしたい」と感じられる空間づくりは、利用促進の観点からも重要だと考えます。例えば、奈良県三郷町にある奈良おもちゃ美術館のように、木材を多く使った温かみのある空間は、子どもが安心して過ごせるだけでなく、保護者にとっても心が落ち着く癒やしの環境となります。このような要素を取り入れた空間づくりは、本素案で示されている「居心地のよい図書館」という方向性とも合致していると考えます。		
2	京都市の漢字博物館・図書館のように、見て・触れて・体験しながら学べる展示や仕組みがあれば、子どもが自然に学びに親しみ、その体験が読書や調べ学習へとつながるきっかけになると思います。図書館機能と体験型の学びを組み合わせる取組は、子どもの興味関心を広げる上でも有効ではないでしょうか。		
3	カフェ併設などにより、子どもと保護者がそれぞれ心地よく過ごせる工夫があれば、休日の滞在時間が延び、図書館が「目的がなくても立ち寄れる場所」になることが期待できま		

	す。		
4	複合施設の中に入ることになると思うが、図書館だけを利用する人用に、駐車場と近くが良いと思う。（できれば今の場所のままだいいですが。）		
5	平日・休日共に開館時間をもう少し長くしてほしい。9：00～19：00までとか。平日20時まであいていたら、働いている方でもよりやすいと思う。学校が長期休みの期間や夏は、8：00～あけてもらいたい。		
6	本を借りるとき一冊ずつバーコードで読み取るのではなく、ＩＣチップみたいなので読みとってまとめて読みとれると借りる時の手続きの時間や手間が少なくなると思う。（そういうところもある。）		
7	本の盗難防止対策をしっかりと取り入れてほしい。例えばＩＣチップをはりつけて、貸し出し手続きが終わっていないのに図書館を出ようとすればブザーがなるとか。		
8	サービスアクションプランについて、一般市民としては、上層部の思いや計画、またそれに対する進行計画等の情報（意味や定義それに到った結論→理由→参考具体例）から戻った意見、結論がまったくし市民に伝わらず、判断材料（どうしたいのか）等がわからない。		

9	いい物（新しい図書館）できたからどんどん利用してや！では困りますし、現職員（正規）に慣れ親しんだ職員、市民、その他の人々が今以上に親しみ、ふれ合う、親近感、愛着など温かいニュアンスを大切に育てスマホの情報以上に図書の情報をもっとわかりやすくしてほしい		
1 0	今回のサービスアクションプラン、情報等はどのくらい市民に伝わっているのか、数値で知らせてほしい。		
1 1	今までに多くの知識、経験、手際のよさ等慣れ親しんだ現職員だからこそできることがもしなくなるようであれば、心残りで残念！にならないよう、ご配慮いただければ幸いです。		
1 2	現状の課題は理解できますが、具体的な取り組み計画である（令和8年～12年度）の中において、どこまでが現在の中央館でアクションを起こせるのか？複合施設へ移転後のアクションなのかが曖昧に感じます。具体的な取り組み計画、前期（令和8年度～12年度）後期、移転後にできるアクションを明確にしてほしいです。		
1 3	成果指標において、現状における図書館職員の実態を見て感じることは、今以上の目標値を定めるのであれば、職員の増員が必要不可欠であると感じます。		

1 4	成果指標 7 学校との調べ学習・読書活動を実施した数では、数値目標も大切かも知れませんが、オンラインを利用して、学校司書と連携し、いつでも、どこでも学校図書館とつながることが出来るのではないのでしょうか。		
1 5	年齢別の利用状況や、曜日、時間帯の利用状況などのデータ作成、細かなアンケートの実施などで調査をし、滞在型図書館へ移行していく施策も必要に感じます。		
1 6	「目指す姿」としてすべての市民が利用したくなる図書館と示されているのは素晴らしいと思います。その図書館をすべての市民が利用する為にはアクセスは大きな問題と思われます。移動図書館車は図書館から遠い地域に本を届けていますが、積載の本の数を考えれば限界は明らかで、願わくば、南部の分館として京田辺市立図書館網としての整備にまで広がっていくようお願いできません。		
1 7	開館時間の延長について考える際には、「とりあえず開けておけばいい」というものではなく、例えば昨今の夏の異常な暑さを考えると、夏の間だけ9時から開けるとか、或いは毎日ではなく週に1回とか限定して、通常と同等の水準のサービスの提供をするなど慎重に検討していただきたいと思います。		
1 8	市の図書購入費、本の購入計画、本の購入決定の仕方など、説明会をしていただけたらと		

	思います。		
1 9	新しく市史資料集が出されました。図書館主催で各分野とか各年代とか区切り、90分程度の講座か学習会とか設けていただけたらと思います。本との距離が近くなると思います。		
2 0	ギャラリーの展示会のうち、説明があると理解が深まるものもあると思います。「ギャラリー・トーク」なども設けるといいのではないかと思います。		
2 1	新しい市庁・図書館等が計画されていますが、いつ説明会はあるのでしょうか。		
2 2	アクセスの利便性を求めます。 京田辺駅、新田辺駅より遠くなることから、路線バスの駅－複合施設間を無料にする。イベント開催時は無料シャトルバスを運行する。駐車場から施設内まで雨に濡れずにすむ対策など。		
2 3	図書館のコア業務は市直営で行うことを求めます。 図書館は行政サービスそのものであり、その根幹をなす業務（中核的な判断・企画／部署を超える業務や企画／現場感覚・利用者とのコミュニケーションが得られる業務など）は公共性・公平性・中立性・専門性・継続性・個人情報の取り扱い・思想 信条の多様性保障の観点や、継続的な職員育成面から、市職		

	員（司書資格を有する者を中心とした専門職）が担うべきです。		
2 4	民間委託では、売上・利益・スポンサー・契約期間（更新ごとに人が入れ替わる）などの影響を受け、蔵書構築の公共・公平性が損なわれ、知の蓄積も断絶する恐れがあります。短期的なコスト削減に見えても、長期的には図書館の質や市民サービスの低下、市の文化レベルの低下、追加コストの発生、無責任な蔵書構築につながる可能性が高いと考えられます。		
2 5	民間委託は「周辺業務」に限定することを求めます。 民間活力を活かすこと自体には賛同いたします。しかし、それは効率性が発揮されやすく、図書館の公共性・公平性などを損なうことのない非コアに限定することが重要です。 民間運営委託では、蔵書構築の責任主体が曖昧になり、「売れる本・委託企業に不利でない本」に偏る、「集客優先・商業イベント化」で貸出数・入館者数の不正水増しのリスクがあります。		
2 6	中央図書館の移設後の跡地の有効活用まで含めたサービスを求めます。 現中央図書館の立地は、ＪＲ京田辺、近鉄新田辺にも近く、学生・社会人・子育てファミリー・障がい者・高齢者らにとってもアクセ		

	スしやすく気軽に立ち寄れ、短時間利用も可能で、また、災害にも強いエリアです。新中央図書館が、「滞在型・大型施設」なら、跡地は「軽量で機動的なサービス・居場所」を担うと相互補完が成立し、新中央図書館のサービスの一環として機能します。 駅前サテライト図書館／学習・交流スペース／子育て支援拠点／高齢者の居場所／災害対策拠点		
27	市の正職員としての図書館司書の（新規・中途・再）採用が急がれます。人事の育成にはしっかりと予算をあてるべきです。何をおいてもこれが喫緊の課題。英断をお願いします。		
28	移動図書館は、子どもが小さいときから利用させてもらったが、赤ん坊がいるときはかなり役に立った。これから育児をする世代もまだまだ多いと思うので、移動図書館は継続して（充実させて）ほしい。		
29	図書館への導線の一つとして、図書館の中に近隣の小学生や幼稚園から絵画や書道・工作の作品を募集し、飾ってはどうか。（カレンダーなら定期的に飾れる。確か、精華町の図書館がやっていたと思います。）		
30	お寺や教会の前に掲示している伝導掲示板のように、好きな言葉を紹介してもらい、ボランティアサークルや大学生の学生（書道サー		

	クル等) に字を書いてもらってはどうか。		
3 1	カウンターや移動図書館で、これまでに様々な本の探し方や相談や本の紹介をしていただき、助けていただきました。これまでのスタッフの方の努力の賜物だと思います。これらの取り組み（レファレンス）についてあまり知らない方もいると思われるので、積極的な外部での活動紹介を市での広報活動をしてはいかがでしょうか。		
3 2	駐車場から屋根があるといいなあ、と何度も思いました。（特に子どもがいた時）		

問い合わせ先 社会教育課中央図書館

電 話 0774-65-2500

Eメール library@city.kyotanabe.lg.jp